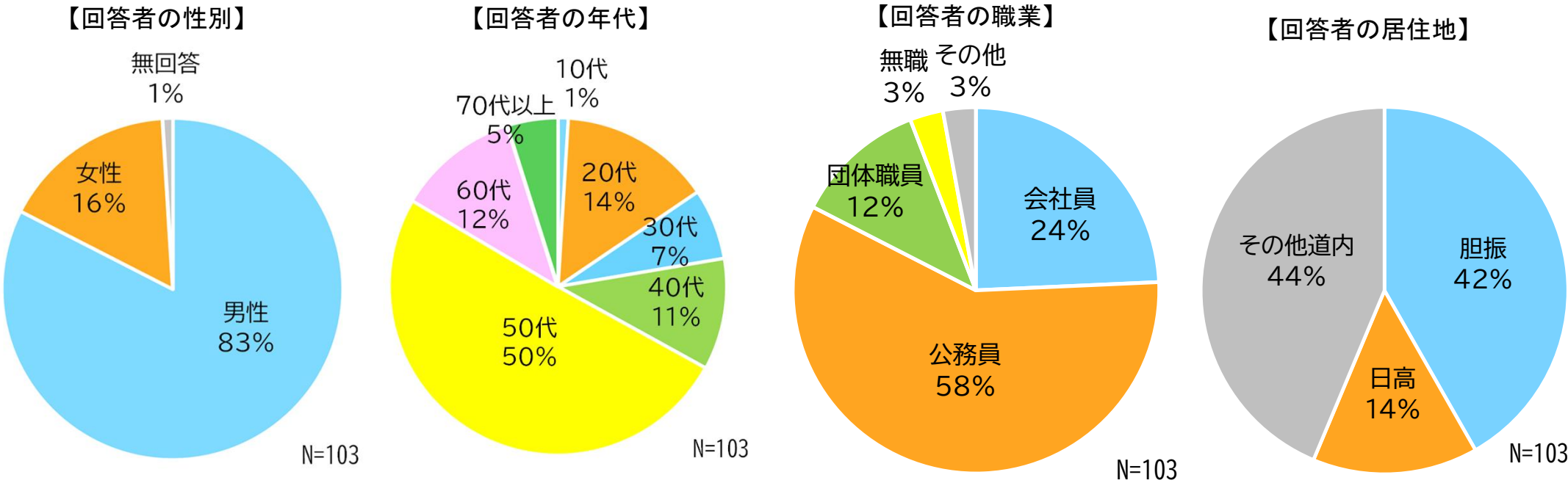


2024年11月22日に開催された「共に北海道の未来を創る～胆振・日高から考える持続可能な観光地域づくり～」を聴講頂いた方々を対象に、今後の胆振・日高地域の観光地域づくり推進に向けてアンケートを実施しました。

調査対象	「共に北海道の未来を創る～胆振・日高から考える持続可能な観光地域づくり～」シンポジウム参加者		
シンポジウム参加者	合計212人(会場:93人、WEB:119人)	回答数	103票(回答率48.6%)

問1:回答者の属性について(性別、年齢、職業、居住地)(1つずつ選択)

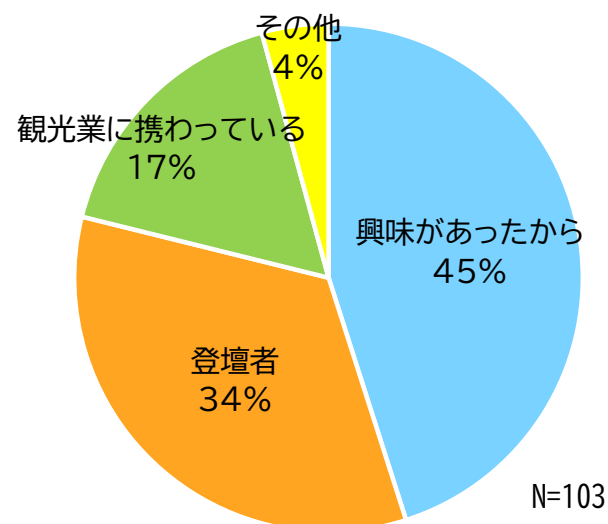


「共に北海道の未来を創る」参加者アンケート結果

問2 本日のシンポジウムに来場された理由をおきかせください。

(あてはまるものすべてに○)

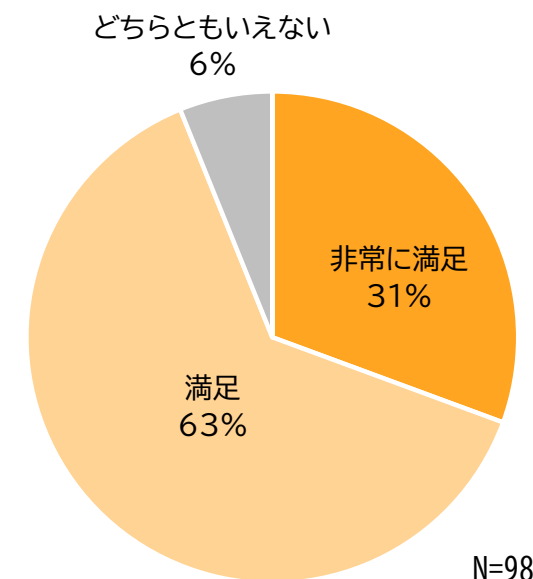
【①胆振・日高の観光地域づくりに興味があったから、②胆振・日高の観光業に携わっているから、③登壇者の話を聞きたいと思ったから、④その他】



問3 本日のシンポジウムに対する満足度をお教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

【①非常に満足、②満足、③どちらともいえない、④不満、⑤非常に不満】



問4 満足度の理由を教えてください。(自由記述)

- ・基調講演及び各登壇者からの話題提供について、試行錯誤の状況や距離感が近く感じられた。全般的に興味深かった。(胆振・公務員)
- ・観光の専門家の方や、地域づくりの第1線で活躍されている方々のお話を聞くことができ、大変有意義だった。(日高・公務員)
- ・例えば、ガールズバーの運営はともすれば北海道には似つかわしく無い内容でも道外からの集客があるというのは面白いアイデアと思った。北海道のポテンシャルはまだまだ掘り起こす「事」「物」があると考えた。パネリストの皆様は素晴らしい活動をしてらっしゃると感じた。将来的に私もお手伝いできればと考えさせられた。(その他道内・会社員)

・シンポジウムに来場した理由は、「胆振・日高の観光地域づくりに興味があったから」の45%が最も多く、次いで「登壇者の話を聞きたいと思ったから」が34%、「胆振・日高の観光業に携わっているから」が17%となっています。

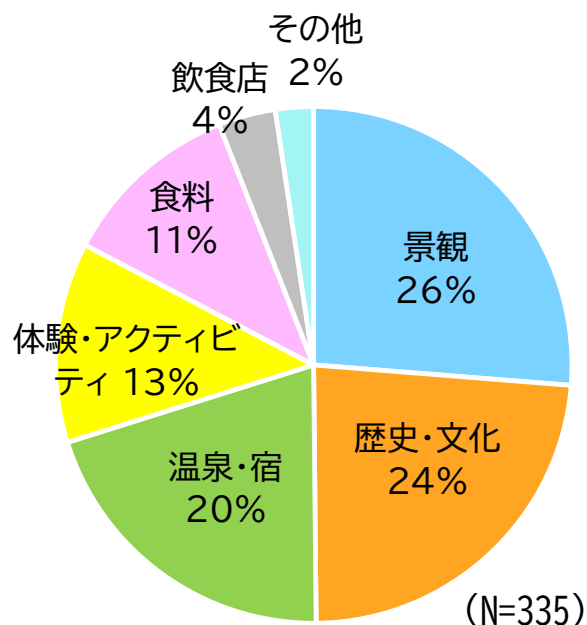
・シンポジウムに対する満足度は、「満足」が63%と最も多く、次いで「非常に満足」が31%、どちらともいえないが6%となっています。

「共に北海道の未来を創る」参加者アンケート結果

問5 胆振・日高地域における持続可能な観光地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(1) 胆振・日高地域の観光コンテンツで、強み(ポテンシャル)と思うものをお選びください。(複数選択可)

【①景観(洞爺湖、登別地獄谷、襟裳岬など)、②食料(米、野菜、肉、魚介類など)、③飲食店(食事処、甘味処、カフェなど)、④歴史・文化(ジオパーク、縄文遺跡、アイヌ文化など)、⑤温泉・宿(温泉宿、ホテル、民宿など)、⑥体験・アクティビティ(乗馬、登山、サイクリングなど)、⑦その他(自由記述)】



【その他の意見】

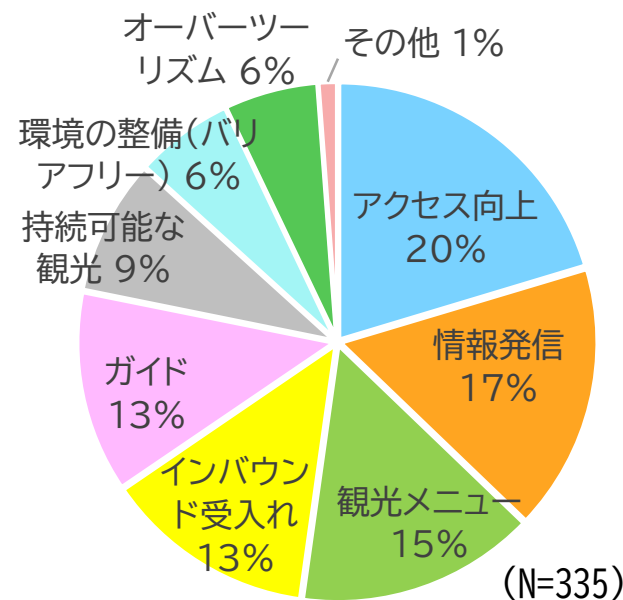
- ・国立公園が胆振、日高それぞれにある(日高・公務員)
- ・夏は冷涼、冬は積雪が少ない点(胆振・公務員)
- ・本当に人もすごく良い(胆振・団体職員)
- ・コンポート、サップ船、ジオツアーなど、そのものの資源を活かす暮らしのすべて(胆振・公務員)
- ・人(その他道内・無職)
- ・日高山脈襟裳十勝国立公園(その他道内・会社員)
- ・白鳥大橋インフラツーリズム(胆振・団体職員)
- ・馬文化、アイヌ文化(日高・公務員)

・胆振・日高地域の観光コンテンツで、強み(ポテンシャル)と思うものについては、「景観」が26%と最も多く、次いで「歴史・文化」が24%、「温泉・宿」が20%となっています。

問5 胆振・日高地域における持続可能な観光地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(2) 胆振・日高地域において持続可能な観光地域づくりで必要だと思う対策をお選びください。(複数選択可)

【①観光地へのアクセス向上、②観光案内するガイド、③受入れ環境の整備(バリアフリー)、④インバウンド受入れ環境の整備(キャッシュレス化、Wi-Fi、多国語表示など)、⑤オーバーツーリズム対策、⑥観光メニュー(体験型メニュー、聖地巡礼など)、⑦効果的な情報発信、⑧持続可能な観光計画の策定、⑨その他(自由記述)】



【その他の意見】

- ・長期滞在型のツーリズム(その他道内・会社員)
- ・自由度の提案(その他道内・会社員)
- ・リピータの満足度アップ(胆振・公務員)
- ・宿泊施設整備、マナー向上(日高・公務員)

・胆振・日高地域において持続可能な観光地域づくりで必要だと思うことは、「観光地へのアクセス向上」が20%と最も多く、次いで「効果的な情報発信」が17%、「観光メニュー(体験型メニュー、聖地巡礼など)」が15%となっています。

問5 胆振・日高地域における持続可能な観光地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(3) 胆振・日高地域の観光地域づくりで、あなたが今後やってみたいことはありますか(自由記述)

【ツアー・コンテンツ造成】

- ・観光客の滞在時間が長くなるような、ツアープランの策定をする。温泉地であることを活かして、室蘭市の夜景等を中心とした温泉地を起点とする夜の観光事業の充実も大切だと思う。(胆振・公務員)
- ・アイヌの観光資源や温泉を使い、旅行ツアーを盛り上げていきたい。(胆振・団体職員)
- ・小・中学生を対象に、長期休校期間(夏休み、冬休み)を利用した短期留学的な体験型ツアー(アイヌ語合宿、アイヌの生業(狩猟、採取)と文化をセットで体験、国立公園内での自然学習など)の企画立案に携わってみたい。(その他道内・公務員)
- ・例えば、登別温泉であるならば、クッタラ湖観光や時代村観光などとのコラボレーションが必要かなと思っていました。他地域ではたとえば熱気球体験をしているところもありました。(その他道内・会社員)
- ・胆振・日高にしかない、そこに行かないと感じられない、体験できないことに参加してみたい。(その他道内・会社員)
- ・国立公園を活用したAT。(日高・公務員)
- ・火山の入山規制区域へのアドベンチャートラベル→入山規制を地元の有識ガイドに限定し、限定解除。(胆振・公務員)

【飲食・グルメ】

- ・「室蘭やきとり」食の地域ブランド化、活動体立上げ、1年フード・商標登録など。(胆振・公務員)
- ・何か目玉商品が欲しいと思った。そして、できれば何かそちらに行ったら是非食べたいと思うような、例えば地球岬の「つぶ焼き」はどうだろうか。(その他道内・会社員)
- ・個人的には登別温泉街で、地元のグルメを食べてもらえるような店を出したい。(胆振・団体職員)

【連携体制づくり】

- ・農政に携わる業務を行っているため、農業体験と観光が連携し地域を盛り上げるような仕組みづくりができればと考えている。(道内・公務員)
- ・横に長い地域であることは連携が取りにくい反面、難しさを逆手に取って連携するための方策がないかみんなで考えてみるべきではないか。(道内・会社員)

【アイヌ文化】

- ・アイヌ文化の地名含めた自然環境と地域の歴史を徒歩でガイドしたい。(胆振・団体職員)

【人材育成】

- ・ホスピタリティの底上げ。(旅行者に親切な案内、メニュー、体制づくり)(胆振・団体職員)
- ・ガイドツアーの充実を図ることが必要。そのためには、人材の育成が必要である。合わせて、情報発信により、ガイドツアーの面白さと費用をかけても行ってみたいと思わせる仕掛けも必要と感じている。(胆振・公務員)

【馬産地振興】

- ・漫画・アニメがきっかけでその観光地に来ることが多くなってきている時代だと思うので、北海道には有数の馬産地があるので、いま人気の「ウマ娘」にあやかって各自治体取り組んだらいいと思う。(道内・会社員)

【交通アクセス】

- ・交通手段(観光地を点と点でつなぐ)の提供。(胆振・公務員)

【観光体験】

- ・体験型の観光を是非体験してみたい。(胆振・公務員)

問5 胆振・日高地域における持続可能な観光地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(4) 観光地域づくりを進めるに当たり、行政機関に期待していることはありますか(自由記述)

【行政手続き・サポート体制】

- ・これまで街でやってこなかったことへの申請もあるとおもうが、チャレンジ精神を大切にして柔軟に対応してもらいたい。(胆振・団体職員)
- ・窓口の一本化など事業者がスムーズにスタートアップできる環境作り。(その他道内・会社員)
- ・地域のプレーヤーが取組を効率的に進められるよう、行政側の横連携を強化し、窓口の一元化に極力努めること(縦割りNG)。(その他道内・公務員)
- ・民間企業が事業をスタートしやすくするような調整や企画をしてほしい。(胆振・公務員)

【連携・共創】

- ・民間との協働。(日高・自営業)
- ・自治体単位ではなく、広域な地域単位で観光事業の発展を進めてもらいたい。(胆振・公務員)
- ・行政主体では、うまくいかないため、地域の方々が盛り上げていくことが必要。まだまだ、民間でできることはある。(胆振・公務員)
- ・他業種にわたる方々のネットワーク化。(その他道内・会社員)

【交通・インフラ整備】

- ・高規格道路を含むアクセス道路の整備。(胆振・公務員)
- ・アクセスなどのインフラ整備。(胆振・公務員)
- ・インフラの整備はどうしても必要。(その他道内・公務員)
- ・交通機関は住民の足であり、観光客の足でもある。最低限の二次交通を消さないよう願う。(胆振・公務員)
- ・観光地を結ぶ足の確保。(その他道内・会社員)

【予算獲得・補助金交付】

- ・助成金など資金面で事業意欲がある方の背中を押す仕組み作り。(その他道内・会社員)
- ・国から予算をもってくる(関連予算)。(胆振・公務員)
- ・行政は、あくまでもサポートに回り、個人を含めた民間主導で進める方がアイデアが膨らむ。サポートの役割として交通手段の確保やインフラ整備といった、大きな予算を必要とする部分への協力が重要。また、そのための制度作りも重要と思う。(胆振・公務員)
- ・資金援助。(その他道内・会社員)

【情報発信】

- ・SNSツールは観光地域づくりにとってとても有効なツールであると思うので、もっと発信力を高めていただければよいと思う。(胆振・団体職員)
- ・民間のちっぽけなアイデアを実践する機会の創出、宣伝協力(各種媒体)。(胆振・公務員)
- ・民間事業者との連携強化、積極的な広報支援等(胆振・団体職員)
- ・行政は、今回のようなシンポジウムや、情報発信をお願いしたい。(その他道内・団体職員)

【受入環境整備】

- ・ウポポイから二風谷まで、林道や海岸線を歩きながら胆振の自然と文化を歩きながら体感できるトレイルの整備。(その他道内・会社員)

【イベントの開催】

- ・今回のような、地域づくりに関するシンポジウムやフォーラムの開催。(胆振・公務員)

問6 本日のシンポジウム全体を通して、感想やお気づきの点がございましたら教えてください。(自由記述)

- ・とても素晴らしい内容だった。ぜひ継続的に開催してほしい。(日高・自営業)
- ・オンラインでの参加となりましたが、とても興味深いお話を聞けたと思った。(胆振・会社員)
- ・胆振・日高エリアの観光に従事する登壇者の皆様のお話を聞くことができ、とても勉強になった。特に、登壇者の皆様はコロナ禍の厳しい逆境の時期を利用し、様々な取組を試みたというお話を聞き、胆振・日高エリアに対する強い熱意と期待を感じた。(その他道内・公務員)
- ・大変面白かった 私が知らなかった取り組みが地域で進められている事を知ることが出来て良かった。(その他道内・会社員)
- ・日高は競走馬の生産基地であり、バイクや大きな排気音を出す車、大勢の観光客の受け入れは望まない人が多いと思う(特に牧場関係者)。なのでマニアックな小人数の観光客に対応した地域づくりが必要ではないかと思う。あまり儲からないが今も生きる馬文化やアイヌ文化で北海道内の他地域にはない体験を提供できるのではないか。一方、胆振には温泉地もあり、多くの観光客の入れ込みを期待できる観光地域づくりとして有望な地域だと思う。(日高・公務員)
- ・サステナブルな観光(≒AT)をもっとスタンダードにすることで、街全体をよくするきっかけになると思った。(胆振・団体職員)
- ・新しい事にチャレンジするだけでなく、既存の資源をさらに活かせるような取り組みが重要であると感じた。また、地域の方々との連携、観光地域づくりにおいて行政との連携も必要である。(胆振・公務員)
- ・札幌市に生まれながら、胆振・日高方面のポテンシャルの高さには、恥ずかしながらあまり気づかなかった。道民として反省も込めて考えさせらるシンポジウムだった。(その他道内・会社員)
- ・このシンポジウムで活動を終わらせることなく、登壇者同士の繋がりや、登壇者の想いを開発局が受け取り何か事業を行えば良いと思う。(その他道内・公務員)
- ・観光が、本当の意味での成長産業となる分岐点にいたるを感じた。ガイドの地位向上を図り、アドベンチャートラベルが地域に根付いていくことが、これからの北海道に必要なことと感じた。(胆振・公務員)
- ・登壇者のみなさんが和やかな空気感で、相互に協調しながら進行していた。一般的なシンポジウムと違い、円座の場においてゆったりと心地よく話を聞けた印象があった。地域で先駆的に活躍する方々の話を聞ける機会があったらよい。(胆振・公務員)
- ・午前中のエクスカッションについて、ウポポイに行くのは2回目だったが、各施設を案内してもらうことで前回よりもアイヌ文化への理解が深まり、2倍楽しめた気がする。参加して本当に良かった。(その他道内・公務員)
- ・ZOOMと現地のハイブリッド開催だったため参加しやすかった。(その他道内・会社員)
- ・女性が半数登壇していることが心地よかった。(その他道内・無職)

アンケートにご協力いただきました皆様、貴重なご意見ありがとうございました。